

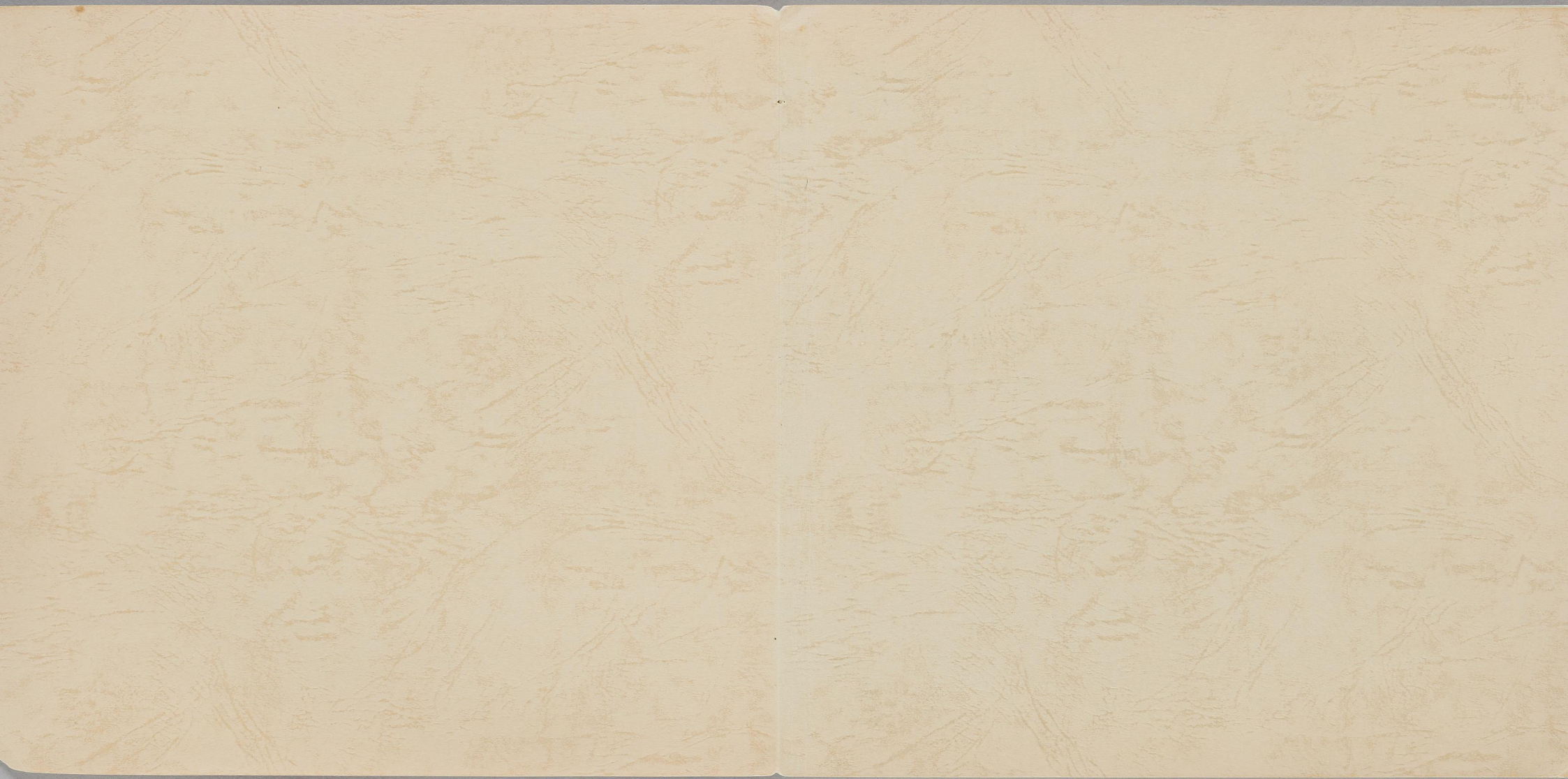


かもし波



吉野川市立輪島図書室
41110105964

3カ '71



鴨島町勢要覧

〈昭和46年版〉



清澄な水老九十九の鴨島公園

吉野川市鴨島公民館

寄贈

わたくしたちの郷土

もくじ

わたくしたちの郷土	3	町のすがた・位置
新しいまち	6	都市計画・土本・失対事業・宅地開発
あすへの人づくり	12	学校教育・社会教育
美しい環境・健康なまち	20	環境衛生・保健
文化生活	24	土水道・下水道
たくましいエネルギー	26	工業・商業・農業・開拓パイロット
みんなしあわせに	37	保育・社会福祉
安全都市めざす	40	交通安全・消防
町政のしくみ	44	執行機関・議決機関
みどころ	48	観光・名所旧蹟
資料		

表紙／鴨島町のシンボル菊の花を模した町民体育館のどんちよう



パイロット開拓幹線から全町をのぞむ

● まちのすがた

徳島県は、東のかた紀伊水道に向かって開けており、吉野川平野は東に幅広く、西にいくにしたがって細く狭い三角状の地溝帯をなしている。

この阿波の「北方」と呼ばれる吉野川平野の中央部に、わが鴨島町が位置し古くより風光明媚な田園都市である。

吉野川に沿った東西交通路（藩政時代には伊予街道と呼ばれた）の拠点として、そのすぐれた土地利用は人口密度を高からしめ、本県最初の鉄道が徳島市とわが鴨島町に敷設されたのを見てもわかるところであり、さらに、吉野川を越えて阿讃を結ぶ南北交通の上からも、官川内の山嶽を越え、香川県三本松に達する。さればこそ近代的な阿波中央橋（昭和29年完成）が、本町に架設されたのであって、吉野川平野の中央を占める位置は誠に意義深いものがある。

鴨島町は、昭和29年3月31日、町村合併促進法に基づいて、鴨島町、牛島村、森山村、西尾村の1町3村が合併し、翌30年1月、東山村榑山地、昭和32年3月には阿波郡柿島村知恵島の区域を編入して現在の鴨島町となった。

昭和45年度、自治省より中央地区広域市町村圏に指定され、8ヵ町村による広域行政を促進することとなり、本町が中心的役割りを果たすべく実施計画書も策定され、その成果が待たれている。

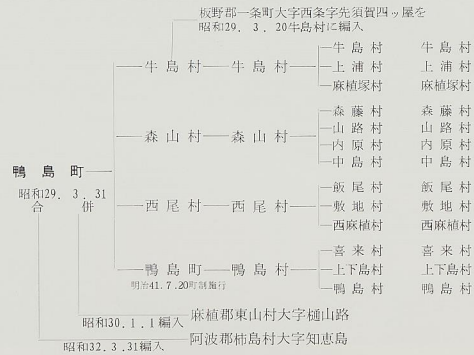
麻植郡全面積246.79㎢、うち本町は33.48㎢を占め、阿北玄関としての都市づくりを着々とすすめ、教育、文化、産業、福祉、厚生、の諸施設を整備しつつ大きく飛躍をつづけている。



本町を基点として阿北路を結ぶ交通の要衝となっている阿波中央橋

《現在の鴨島町が生まれるまで》

昭和26年合併促進法施行後 明治22年市制町村制施行後 明治22年市制町村制施行前 (明治5年) 文化10年 享保1年



鴨島の古い歴史を伝えるうえで、藤井寺の存在は大きい。幾多の変遷をしつとながめながら静寂そのものたたずまいで、きょうも大師の功徳をしのんで参詣の人びとがとどろ



新しいまち



躍進鴨島の表玄関・国鉄鴨島駅前

魅力ある町の建設へ

住みよい魅力あるまちづくりをめざして道路網の整備をはじめ、上下水道施設の整備促進、公園緑地安全施設の充実、宅地開発など意欲的な施策で近代的都市への体勢を整えつつある。

また昭和45年度広域市町村圏の指定を受け、広域施行を推進することとなり、その成果が大いに期待されている。

現在、計画または実施中の事業は次のとおりである。

- ① 都市計画街路事業（喜来上下島線ほか1線）
- ② 鴨島町都市計画下水道事業
幹線下水路の推進
- ③ 鴨島町上水道事業
- ④ 工業・宅地などの開発事業の推進

近代化のすすむ商店街

鴨島町の商店街は、国鉄・鴨島駅を中心としてひらけ、本町はもとより近隣町村からも買い物客がおしよせ、にぎわいをみせている。

今後なお、都市計画や広域市町村圏の中心として、さらに躍進することが約束される。



東新町商店街



銀座通り商店街



駅前中央通り

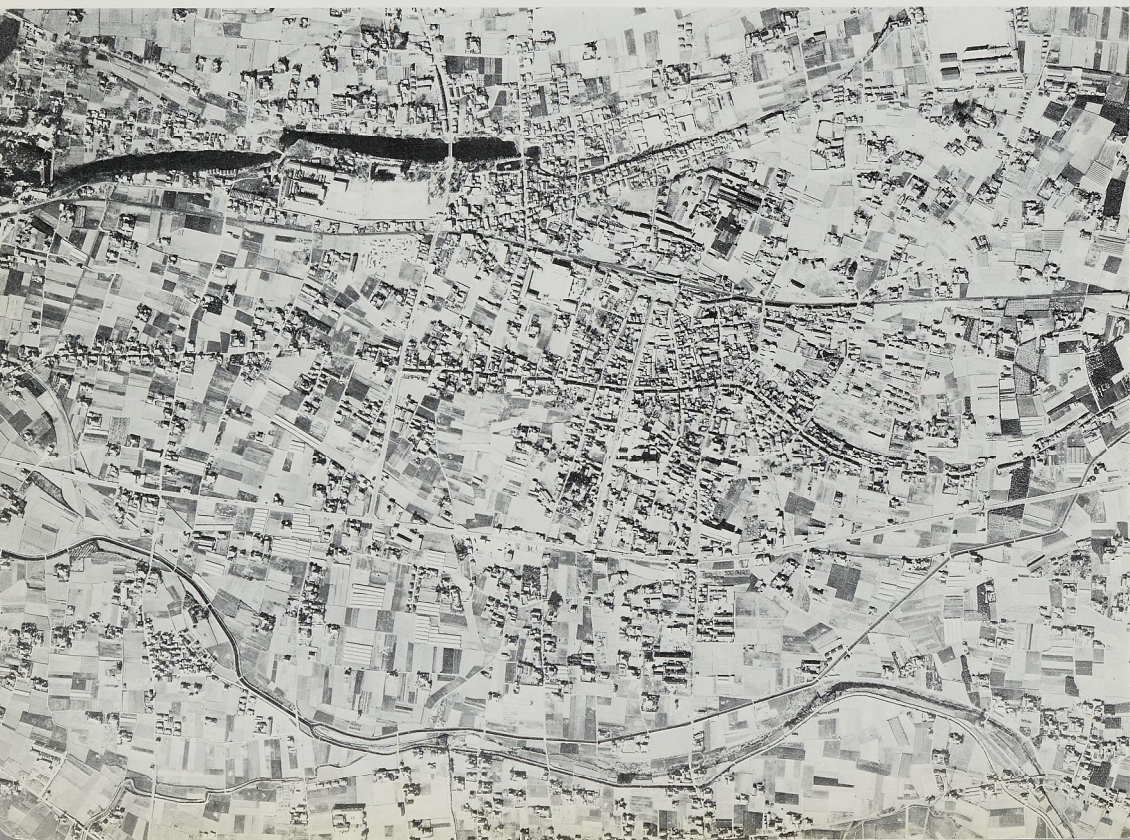
●長期計画の策定に着手

都市計画事業による街路事業の促進，低開発地域指定に伴う大工場誘致の推進，学校校舎の改築，町民体育館の建設など，計画的にすすめ，住みよいまちづくりをすすめてきた。

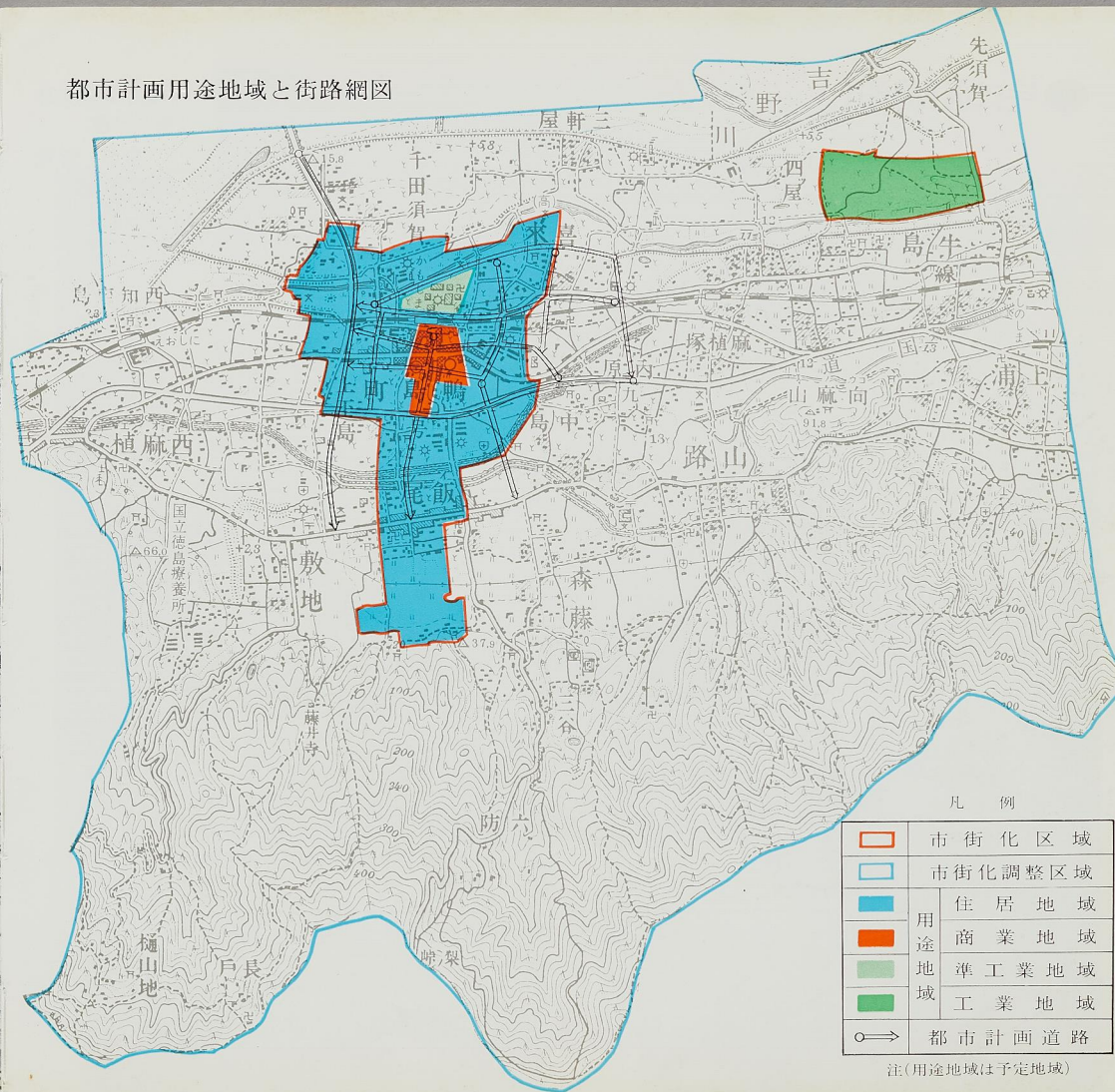
しかし，経済の発展により，今までの長期開発計画を修正する必要性に迫られ，新都市計画法の施行，中央地区広域市町村圏の指定により，10～15年の長期展

望に立った開発構想の策定に着手しなければならなくなった。そこで，鴨島町の将来都市像を，しっかりと見きわめ，どのように描いていくか，建設的な計画が研究計議され，昭和60年を目標に，『健康で文化的な田園都市』をめざし長期総合開発構想の策定に着手し，阿北の中心地として名実ともに中核都市にふさわしい町づくりにまい進している。

空からみた本町の市街地



都市計画用途地域と街路網図



●宅地開発



住宅づくりが着々とすすめられている呉郷団地と県営住宅

県営住宅 88戸

町営住宅

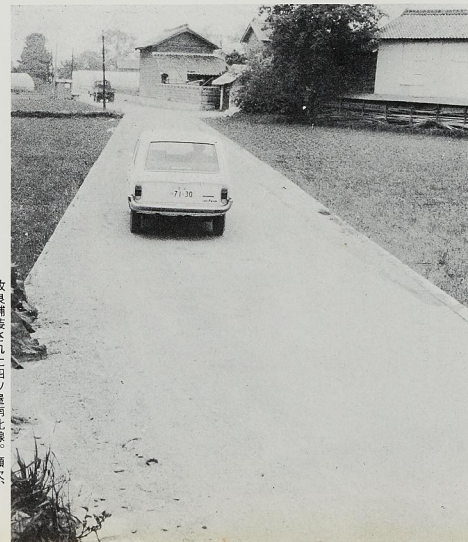
団地名	鴨島第2	鴨島第3	鴨島第4	西麻植第1	西麻植第2	知恵島	牛島	大東A	大東B	清美	中筋	麻植塚	計
第1種		5	22	5	12		5						49
第2種	5	3	8			9		13	12	20	24	20	114
敷地面積	734	1,213	4,632	757	1,501	761	783	3,504		4,532	2,403	2,680	23,500

住宅づくりは 急ピッチ 新設・改良 される町道

町民のための住宅づくりは、現在、呉郷団地内に町営によって100戸の建設が計画されている。また、町民生活の基盤である道路網の整備については、町政の最重要目標として、強力に推進している。



喜来地区に建設されている清美団地



改良補装された四ツ屋南北線。順次町道も舗装・整備されつつある。



失対事業による町道の整備がすすめられる。既舗装工事の現場。

あすへの人づくり



若人の血はもえる……練習にはげむ鴨島一中音楽部員たち

●学校教育

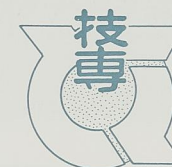
教育施設の充実は特に力を注ぎ、老朽危険校舎も一掃されつつあり、近代施設に生まれ変わっている。

学校教育の重点は『学力向上』、『健康増進』、『安全確保』におき、むり、むだのない水準の高い教育の研究体制でおしすすめている。

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	技能専門学校
公私別	私立	町立	町立	町立	県立
学校数	1	7	7	2	1
生徒数	112	526	2,095	1,218	950
教員数	8	16	95	63	60



鴨島商業高校



技能専門学校



鴨島第一中学校



鴨島東中学校



鴨島小学校



西麻植小学校



飯尾敷地小学校



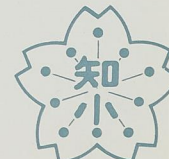
森山小学校



牛島小学校



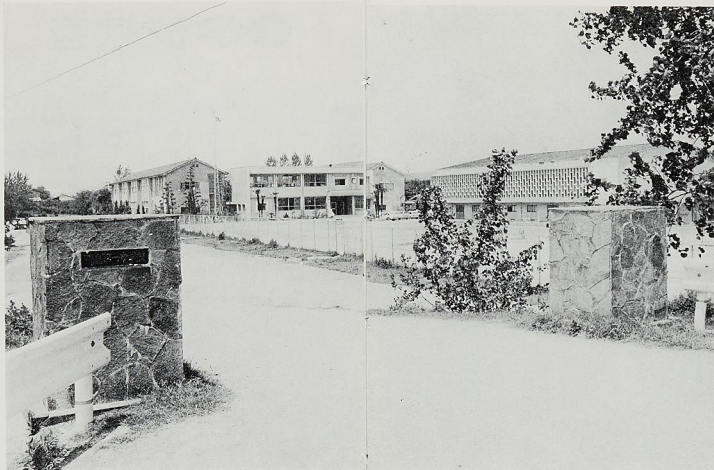
上浦小学校



知恵島小学校



知恵島小学校



鴨島第一中学校



鴨島東中学校



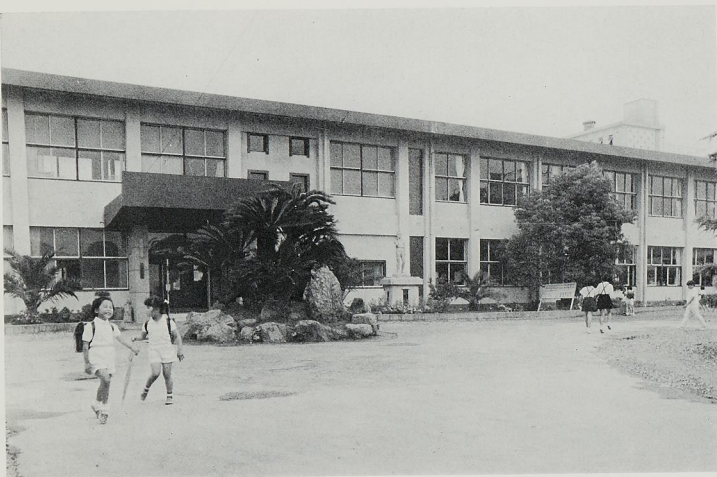
飯尾敷地小学校



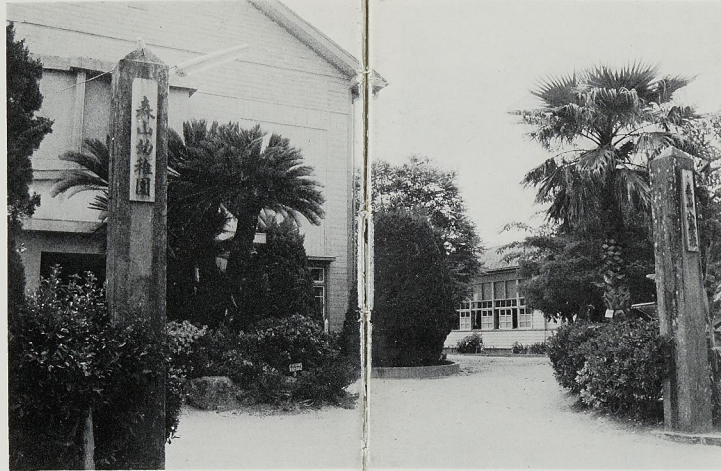
牛島小学校



上浦小学校



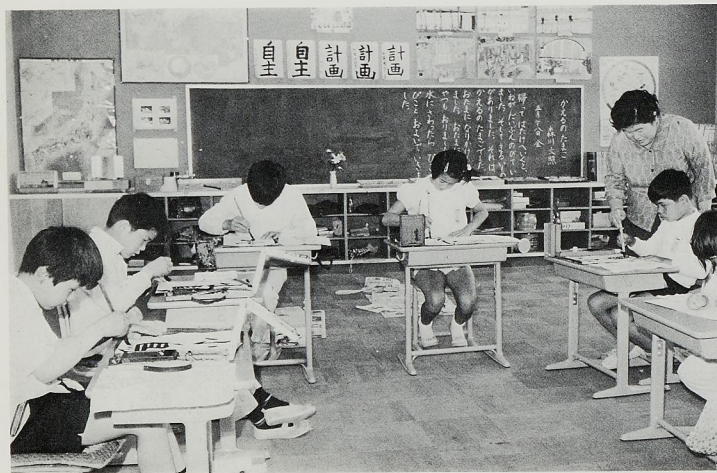
鴨島小学校



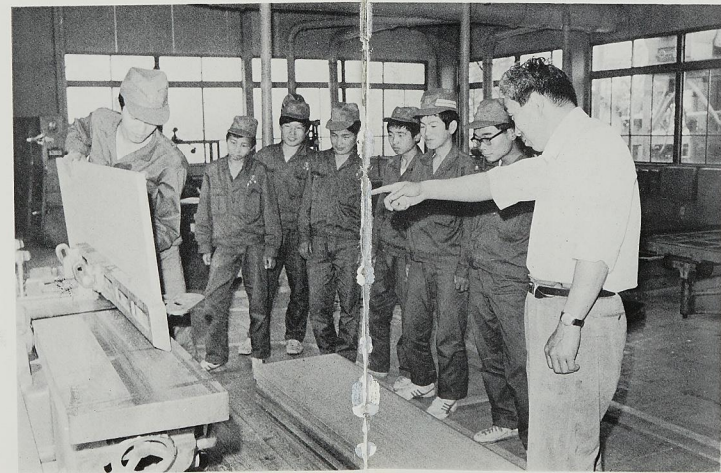
森山小学校



西麻植小学校



特殊学級 (鴨島小学校)



技能専門学校



鴨島商業高校

●社会教育

偉容を誇る町民体育館、総工費約 5,500万円、鉄骨、一部鉄筋コンクリート造り1,200坪のモダンな施設で、昭和46年3月完成した。
 昭和46年8月開催の全国高等学校総合体育大会の重量あげ会場となり、全国から選ばれた高校生が、日ごろ鍛えた力量を十二分に発揮できるにふさわしく整備された体育館である。
 町民からスポーツの殿堂として、これから親しまれ、連日利用者ににぎわうことだろう。
 また、農家の主婦や若妻による大学を開講したり、老人会の活動も活発である。



スポーツの殿堂として新築なった鴨島町民体育館と内部④



主婦たちの教養向上に役立てる婦人学級



農家の若妻を対象に開講した若妻大学



駅構内を清掃奉仕するボーイスカウト

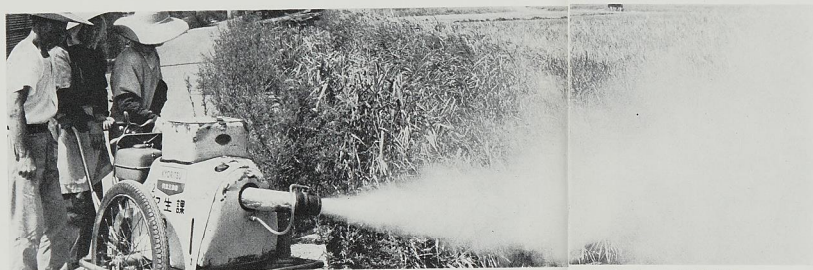


楽しい老後をおくろうとつとめる天寿会員たちの発表会

美しい環境・健康なまち

●環境衛生

鹿芥収集施設の現況



カ・ハエの撲滅をはかった防除作業

焼却施設は昭和38年度に三機工業のバッチ固定炉 7.5トンを設置したが、その後、増大するゴミの量を処理できず、45年には三機工業製の機械化バッチ焼却式20トンを増設し、現在、12トンを毎日焼却している。

○収集運搬施設 ゴミ収集は特別清掃区域約 1,000世帯を回転式、バックマスタースター2ト車2台で戸別収集を行っており、1台は昭和45年更新し、昭和46年、特別清掃区域外の袋収集のため2トンプラント深ボディー改装車を購入し全町収集に備えている。

また、昭和46年度に不燃物処理のため、ビン・陶器類の粉砕機、空かん処理器を購入し、プラントを建設する予定である。

火葬場の現況



改装された鴨島町火葬場

この施設は、町村合併前旧鴨島町と旧柿島村の組合立で昭和28年に創設したものであるが、老朽のため一部事務組合を解散し、本町が昭和43年より経営している。昭和45年、国民年金還元融資2,400千円を財源とし、町費1,750千円を投じ、炉、煙突を改装し、46年5月28日に完成。

本町はもとより隣接の上板町、吉野町、土成町、川島町と事務委託の規約を定め、年間550体の業務量となっている。

《町内を明るく清潔にする運動の応募作品》

- ポスターの部 特選 知恵島小学校2年 山口 純 司
〃 鴨島東中学校3年 武智 康 弘
- 標語の部 特選 ちりすてばしよりする人のみになって
森山小学校2年 石田 よしこ
〃 住む人の心がわかる町のごみ
鴨島第一中学校1年 川 人 里 美
- 作文の部 特選 「町を美しく」
鴨島小学校3年 筒井 光 明
〃 「まず身近なことから」
鴨島第一中学校3年 武田 善 江



1999年特別設備を備えた町営焼却場

●保 健

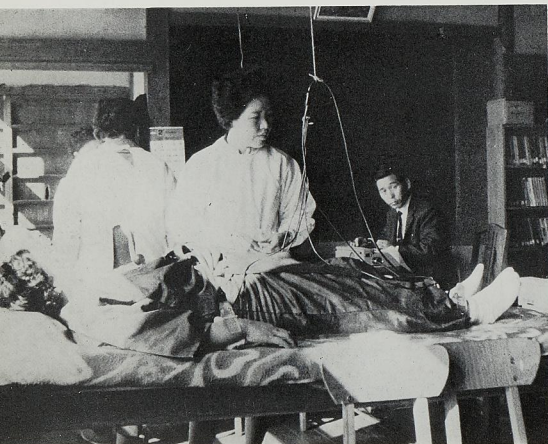
国民健康保険

人口23,537人のうち、加入率46%で町民の健康を守る国保事業は、医療費の負担をできるだけ少なくし、給付率の改善につとめている。

療養給付費は、医療費総額の70%、1件あたり、助産費は10,000円、葬祭費2,000円、育児手当1,200円であり、昭和45年度の給付総額は133,391千円となっている。



不慮の事故から生命を救うために積極的な献血運動



成人病から守るため日ごろから検診が必要



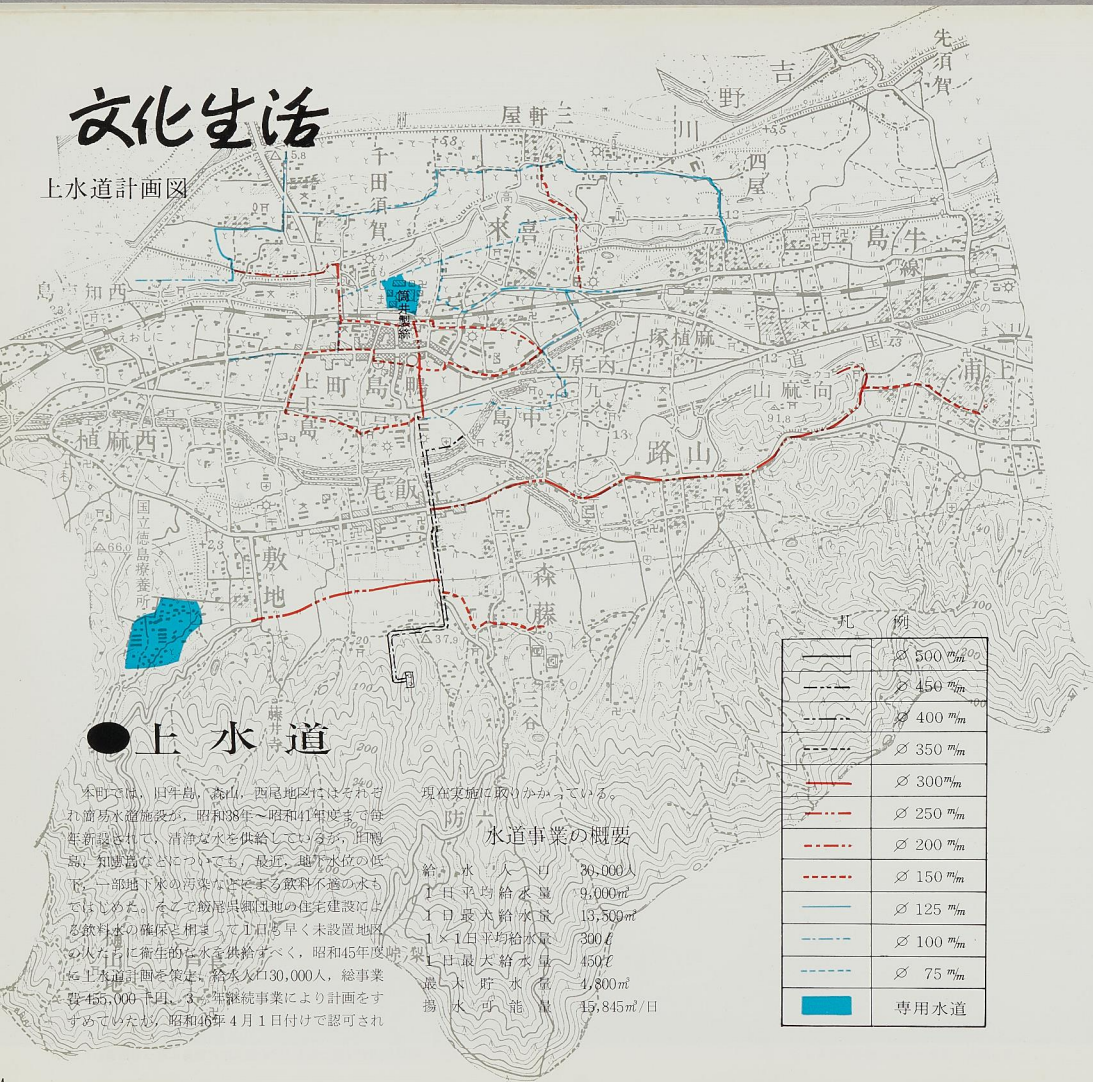
レントゲン検査によって未然に病魔を防止



育児相談や母親となる人の心構えなど親身になって指導して好評

文化生活

上水道計画図



●上水道

本町では、旧年鶴、森山、西尾地区はそれぞれ前易水道施設が、昭和38年～昭和41年度まで毎年新設されて、清浄な水を供給しているが、正嶋島、加瀬島などについても、最近、地下水位の低下、一部地下水の汚染などによる飲料不適の水も発生した。そこで鶴尾島細田地の住宅建設による飲料水の確保と相まって、人口が早く未設置地区の火災等に備える水を供給すべく、昭和45年度中に上水道計画を策定、給水人口30,000人、総事業費455,000千円、3年継続事業により計画をすすめていたが、昭和46年4月1日付けで認可され

現在実施に取りかかっている。

防 水道事業の概要

給水人口	30,000人
1日平均給水量	9,000 m^3
1日最大給水量	13,500 m^3
1人1日平均給水量	300 l
1日最大給水量	450 l
最大貯水量	4,800 m^3
揚水可能量	15,845 m^3 /日

凡 例

	φ 500 m
	φ 450 m
	φ 400 m
	φ 350 m
	φ 300 m
	φ 250 m
	φ 200 m
	φ 150 m
	φ 125 m
	φ 100 m
	φ 75 m
	専用水道

下水道計画図



●下水道

本町の下水道については、昭和初年に築造され、市街地の生活排水および雨水を排除しているが、管径は高0.6 m ～0.8 m であり、通時、他地造成、水の使用量などから排水能力が低く大雨のたびに浸水地帯をひき起こしている。

このため、昭和43年～45年に、5,555千円で調査設計を実施し、7期高都市計画下水道、西島下水道(都市下水路)として、総事業費概算525,000千円、管長2,150 m 、管径φ0.8 m ～2.25 m 、集水面積96 ha 、排水方法は合理式計算に基づき、幹線管径は公道使用により、管径φ1,000、φ1,200、φ1,500、φ2,000、φ2,500の5種を段階的に設置し、φ800、φ1,000、φ1,200の3種を併用することとし、昭和46年2月16日建設省告示108号にて事業認可を受け、5年計画(昭和50年3月31日まで)で事業施工が決定した。

この計画として雨水排除を目的とする都市下水路を認めるが、将来は上水道の完備と衛生環境の向上に伴う水洗便所などの問題など計画仕様のあり方より所管すれば、終末処理場を備えたいの旨、公衆下水道に転換できるよう、貯蓄としておける。この計画は、第一次計画であり、第2、3次計画により集排水面積を拡大し、公衆下水道としての利用面積300 ha 以上とした。

凡 例

	計画決定区界
	幹線管渠
	吐口
	ポンプ場
	計画街路
	市街化区域

たくましいエネルギー

●工業

古くより乳製品、漬けもの、しょう油などの食品加工業、農村余剰労働力を利用した繊維加工業、機械工業などが小規模に行なわれていたが、豊富な工業用水、労働力、さらに良好な地質地盤など、すぐれた立地条件を生かすべく、昭和36年、低開発地域工業開発促進法に基づき、昭和

40年3月、低開発地域工業開発吉野川中流地長尾テキスタイル、サンニットを誘致し、幸あり、内陸工業の食料品加工、繊維加工、機物を利用したコンクリート、第2次加工など先須賀地区に約40haの工場適地を指定してい

区として、指定されたのを機に、い、新産都市徳島地区の隣接地に械工業、弱電気器具製造、河川産の工場誘致を推進すべく、牛島宇

向麻山中麓からみた先須賀地区の工業開発通地



芝生に憩うサンニット従業員⑤と同工場の内部

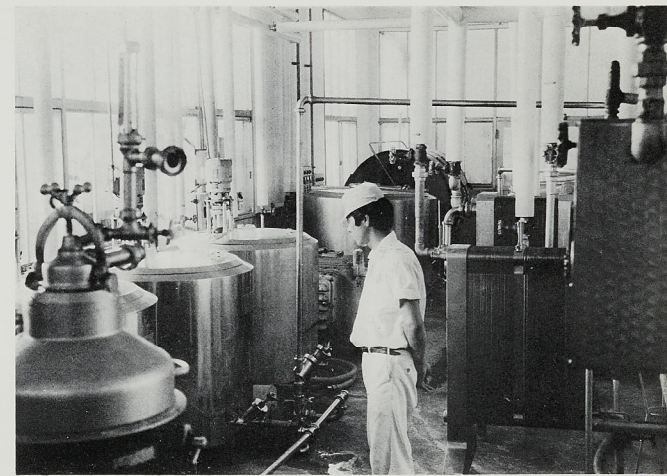




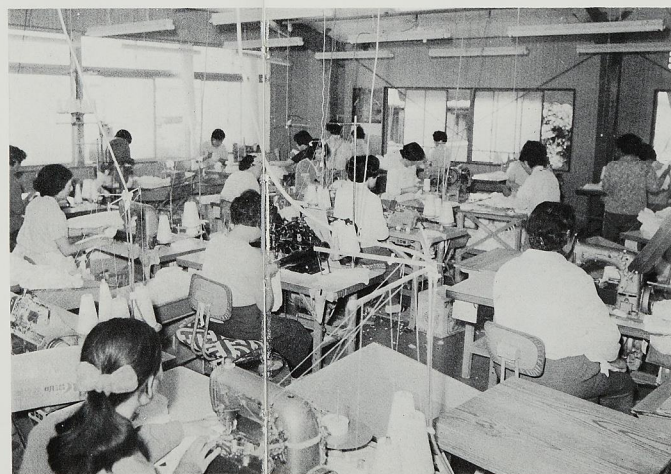
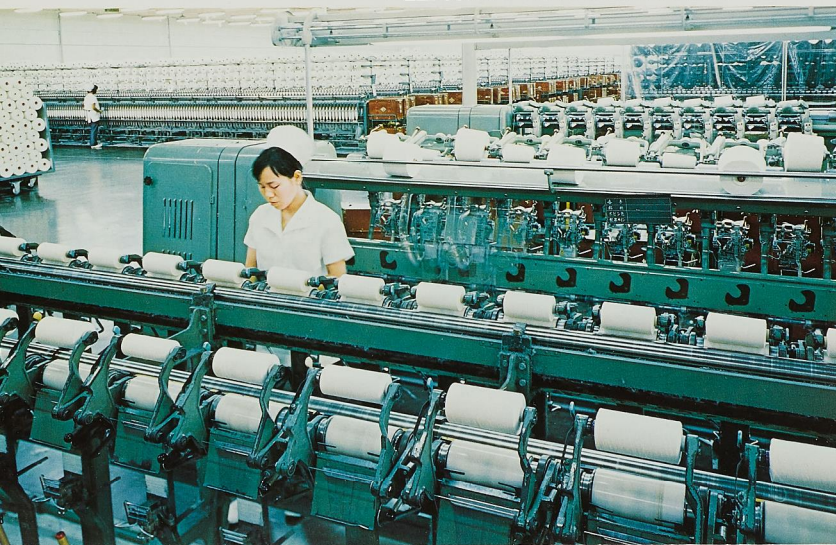
上空からみた長尾テキスタイル全景①と同工場の燃糸部門



新築された筒井製糸の女子寮



乳製品を生産する明治乳業鴨島工場



縫製におわれる高田メリヤス



製材作業にいそむ富士木材



そばを原料に漬けものをつくる松岡食品

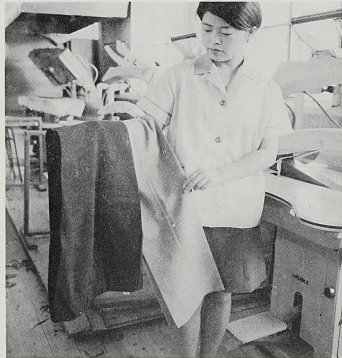
漬けもの



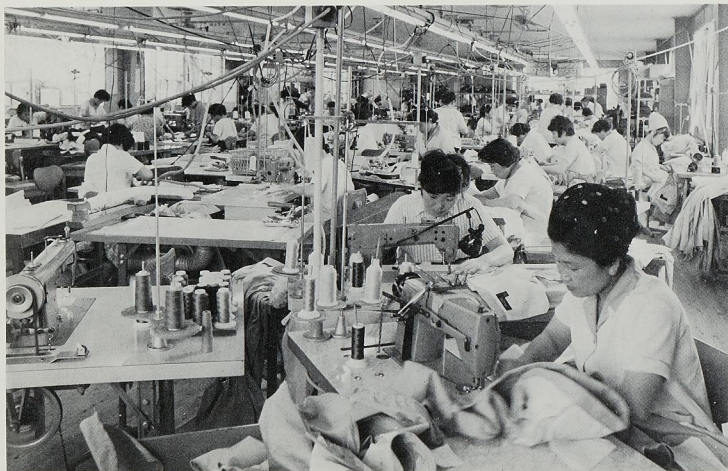
郷土の銘菓



下着製品



仕上がったズボン



生産におわれ汗だくの生和被服

● 商 業

昭和40年に都市計画事業により中央通り（幅員15m）が開通し、急速に既成商店街とともに商店の近代化がすすみ、銀座通りのアーケード、中央通りの水銀灯と交ぼうをとげ、近隣の町村より買い物客がためかけ活況をみせている。

しかし、交通機関の発達により徳島市商店街に需用が少しずつではあるが譲りつつあるので商店街診断や、消費者の声、消費状況など調査をし、都市らしい魅力ある新しい商店街の形成に意を注いでいる。



買い物客でにぎやかながえすママの店



衣料品いろいろのマネキ衣料鴨島店

● 農 業

鴨島町の農業は地質の特色もあり、二つの農業地帯に大別される。

吉野川に沿った地帯は沖積層により、肥沃な土質に恵まれて、ビニール促成栽培のなす、きゅうり、また、そ菜づくりにについても、白うり洋人じん、ごぼう、せれべす、大根などの作物が生産され、京阪神方面の市場に出荷され大変好評を博している。

四国山地に沿った地帯についても、八朔、温州みかん、あたご種などの果樹とともに、水田酪農が盛んで両地域バランスのとれた農業地域を有している。



農業開発のためつくられた農免道路



京阪神への出荷も好調ななすづくり



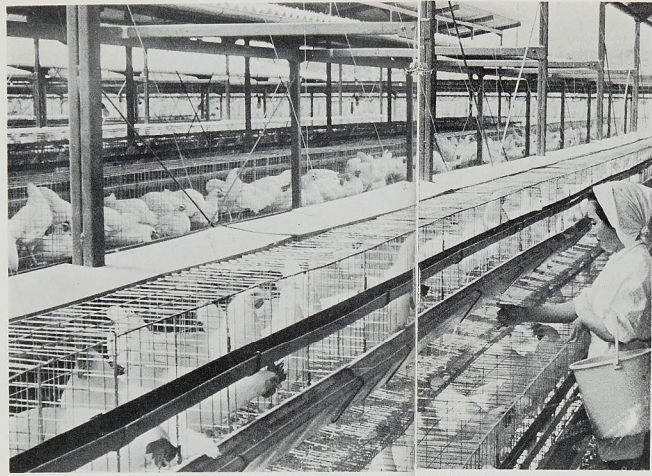
促成栽培で成果をあげるきゅうり



吉野川流域に、そ菜のひとつとして盛んに生産されている白うり



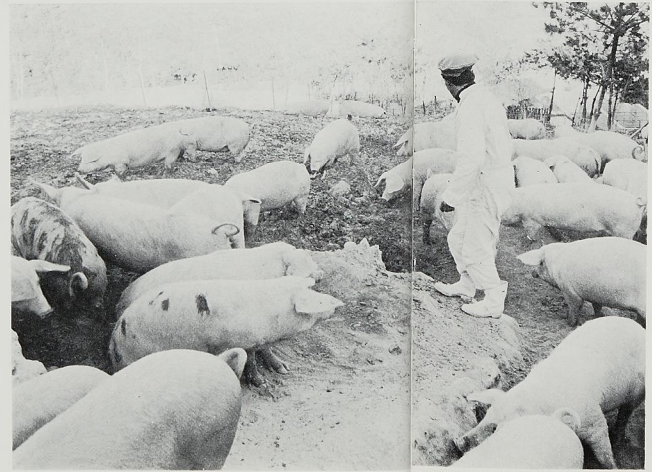
たわわな実をつけた「はっさく」の栽培



ブロイラー、鶏卵 など各方面にわたる養鶏



阿波たぐあん原料・大根の漬け込み



食生活の改善に役立つ養豚の飼育



乳牛の飼育が盛んで換金農家が目立つ

●開拓パイロット

麻植地区国営開拓パイロット事業は、昭和42年度に事業認可があり、総事業費約46億円をかけ、7ヵ年計画により開かん面積289.27ha、幹線道路6本（延

長 67.96km）の主な事業をやり、経営規模の拡大と、自立安定農家の育成をめざし、昭和43年度より着工され、現在では計画の約30%が完成し、初年度植え付けの温州みかんは、昭和48年度になれば『黄金の実』がたわわにのみり、幹線道路の改良と相まって観光農園として脚光をあびることになる。



7ヵ年で『黄金の実』がみえる、進捗する開拓パイロット事業

みんなしあわせに



正しく、強く、美しい子どもになろう——西條育所の園児たち

●保育所



みんなは元気なよい子たち、風にも雨にも負けない強い身体をつくる東保育所の園児たち

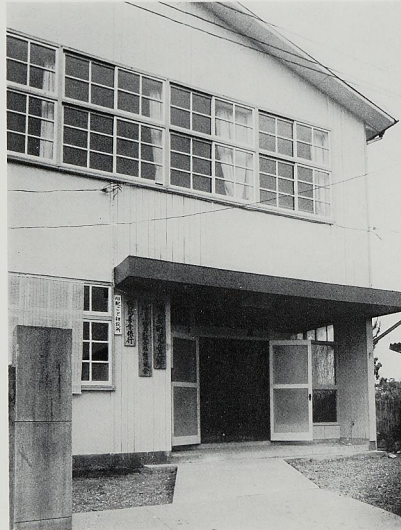


一生懸命に先生の指導で、リズムにあわせながらおゆうぎのけいこに励む中央保育所園児

働く婦人の幼児をあずかる保育所は、鴨島町には、東、中、西の3ヵ所に設置されており、210人のこどもたちが、よい環境のもとで保育され、地域住民の要請にこたえている。

ここでは、乳児保育施設の充実に力を注いでいく方針である。

また、『共働きの家庭の子どもたちの遊び場を』との住民の要望に応え、安全で、しかも楽しく両親が帰宅するまで、読書や室内遊戯ができるよう児童館が設けられている。結果、共働きの親たちは、心配なく就業でき喜ばれている。



子どもたちが楽しくつどう児童館

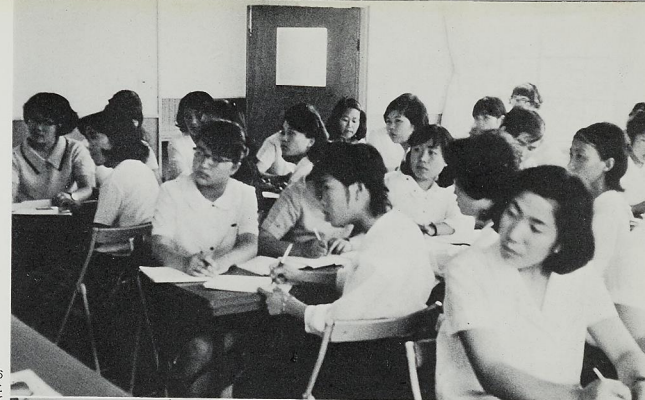
●社会福祉

《社会福祉協議会》

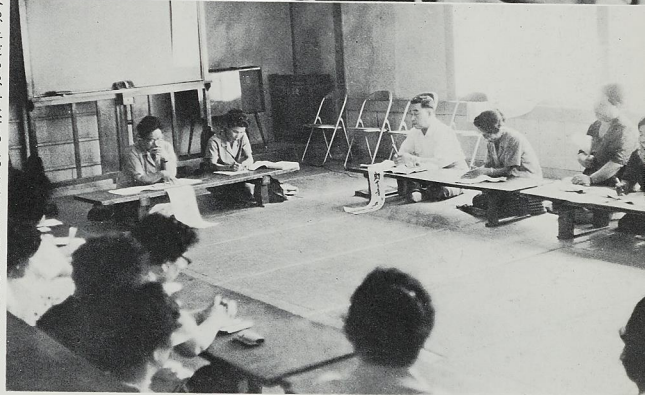
昭和45年4月1日、社会福祉法人・鴨島社会福祉協議会の看板を掲げ名実ともに地域住民の福祉の向上を推進するための団体として発足し、『みなさまの社協』をモットーに地域住民にとけこみ、種々の事業を推進し、善意の花を咲かせつつあり、多大な成果が期待されている。



社会福祉協議会の委員



おとなも、子どもも、すべての人の心配ごとになり力になっている相談室



《心配ごと相談室》

毎水曜日の午前10時から午後3時まで、児童館において民生委員の方がたが中心となり、わずかな悩みごとであっても、これを解決し、明るい家庭づくりにつとめてもらおうと「心配ごと相談室」を設けている。

子どもの就職・しつけ、他人とのもめごとなど、あらゆる分野にわたって相談をうけ成果をあげている。民事・法律・刑法など専門的な解決を要するものは、それぞれの権威者に的確な解答を出してもらうようにしている。1人で悩み、困っている人があれば、事の大小にかかわらず相談するようよびかけている。秘密は絶対守ることはいうまでもなく料金も無料。

安全都市めざす

●交通安全

2日に1件の交通事故、自動車の増加に伴い、ますます激化する交通戦争—。

昭和45年度、本町で発生した交通事故は 160件を上まわり、2日に1件の割合で事故が発生している。

悲惨な交通事故にあわないように、また起こさないようにと、交通ルールの指導と、施設の整備が急がれている。

とくに子どもたちを、事故から守るため、幼稚園や小・中学校で交通安全教室を開き、その指導が続けられている。



交通安全を願って設けられたカーブミラー

悲惨な事故撲滅をほかってもら
けられたガードレール



父兄も協力して児童を交通事故から守っている

●消 防



万一に備えて日夜警備にいそしむ消防署



消防訓練にはげむ署員たち

鴨島町を中心に8ヶ町村による、常備消防署を昭和46年4月1日より設立し、東署（本部21名）において業務がスタートし中署、西署、美郷出張所（36名）については、昭和46年8月1日、北署（16名）については、昭和47年4月1日を目標に、消防要員の訓練、施設の整備、体制づくりに大わらわとなつて準備中である。

全地区の消防署、出張所が運営を開始する昭和47年4月1日には近代的な装備のもとに、89,000人、22,500世帯、335,298人の町村民の生命と財産が守られ、安心して生活できる社会が築かれる。

そのために、より一層の消防行政の充実と広域化をはかっている。



おとなりも わが家も みんな気をつけて
火災は0の 明るい鴨島

新築なった阿北消防本部・東消防署

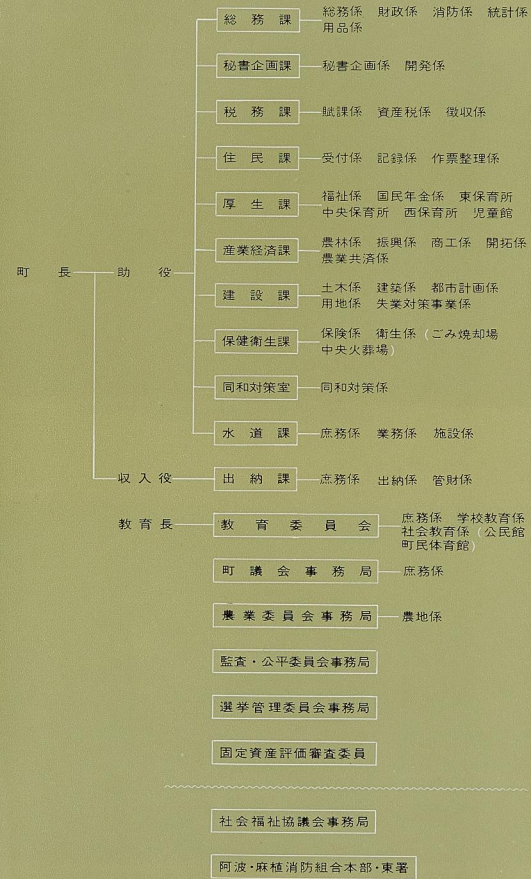
町政のしくみ

●執行機関



町政を司る首脳陣 住みよい明るい鴨島町の建設のため日夜努力をつづける左から川真田一久収入役、糸田川重明第一助役、川真田都夫町長、後藤泰雄第二助役ら

《行政機構》



勤務にはげむ町役場の職員



窓口応接も親切でいい

●議決機関

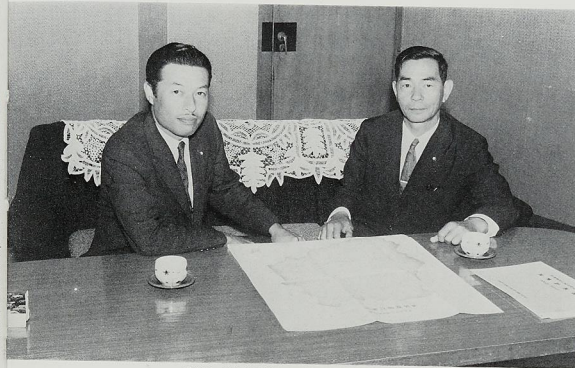
町議会



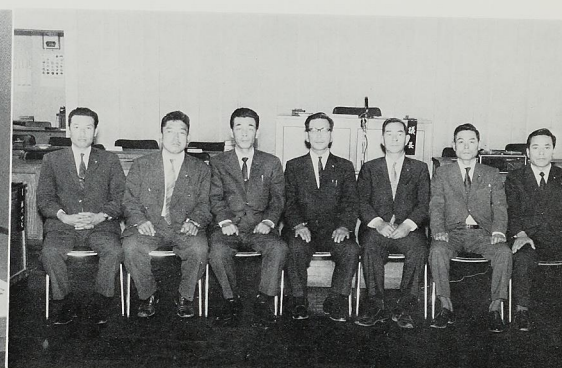
熱心な討議がくりひろげられる町議会

町内の各地区から選ばれた26人の町議会議員が町民の代表によって構成され、年4回開く定例議会と、必要に応じて開く臨時議会により町の重要な政策の決定などを行なう議決機関である。

また、町議会には、専門的に深く掘り下げて調査や審査研究を行なう4つの常任委員会があり、また必要に応じて設置する特別委員会などもある。

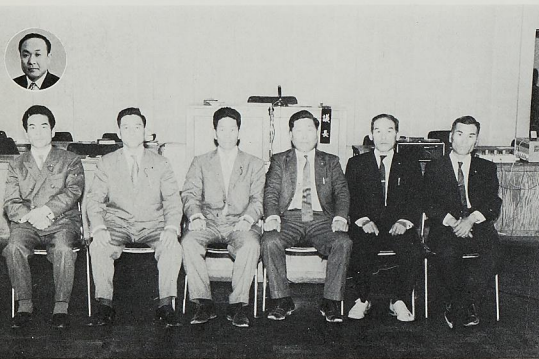


武智一繁議長と山田勝昌副議長



●総務常任委員会

左から山田勝昌、河野定一、大倉正敏、上田芳治、武智一繁、深見善作、流 孝の各委員



●建設常任委員会

左から福井広平、乾 嘉治、岡田繁一、坂本清一、多田吉治、川島高嶺、久保農夫也（円内）の各委員



●文教厚生常任委員会

左から戸出 匡、治田 寛、神本恒夫、岸田重行、中西太郎、藤本 勇の各委員



●産業経済常任委員会

左から工藤重行、藤川竹夫、松島成三、河野貞男、田村恒雄、藤井利一の各委員



●議事運営委員会

左から大倉正敏、工藤重行、藤本 勇、乾 嘉治、治田 寛、河野貞男の各委員

みどころ

阿北の名邑とうたわれる本町は観光資源もまたゆたかである。すみ切った江川の流れを背景にして吉野川遊園地や鴨島公園があり、ともにサクラの名所。四国三郎・吉野川をまたぐ阿波中央橋、町内を一望できる向麻山、四国霊場第11番の札所で本尊が国宝の藤井寺、さらに鴨島駅前広場には、本町上下島出身で、わが国の喜劇王となった初代・曾我廼家五九郎丈の文化碑が誕生、歴史を秘めた壇の大楠や玉林寺などが点在して観光鴨島を色どっている。



壇の大楠 麻前保司の平康頼お手植えの楠といわれ、数百年をへた今日、樹勢なお盛んである。

ノンキナトウサンの碑 明治・大正・昭和の3代にかけて、わが国喜劇界で大活躍した初代・曾我廼家五九郎の至芸をたたえて文化碑が、国鉄鴨島駅前広場にお目見得し、新しい名物となった。かつてノンキナトウサンは全国をわかせたもので「日本のチャプリン」とうたわれた。



玉林寺 平康頼の創建にかかる名刹で臨済宗徳眼山玉林寺と称する。もともと森藤の山腹にあったが、天正年間に兵火にかり、延宝元年に現在の地に再建されたという。

本尊は後白河上皇から賜わったもの。境内に咲きほころぶ花の香は、長い歴史を秘めてさわやかな風に、あたり一面を芳香につつま。ことにサクラの季節には訪れる人びとも多い。

藤井寺 国鉄・鴨島駅から西南およそ3kmの飯尾にあり、臨濟宗妙心寺派で、弘法大師の開基といわれ、四国霊場第11番の礼所である。

菜の花の咲きはじめる3月から大師の功徳をしのんで、1300年あまりもつづいている四国遍路にツエをひく人がびとがとどろ。遠く九州や京阪神からも団体で参詣におよせ、さながら阿波路の春は遍路笠であけるといっても過言ではない。

本尊は国指定の重要文化財に指定されている木造・釈迦如来坐像である。像は構造などからみて、非常に古様を伝えており、背板の銘文には久安4年とあり、仏師・経尋の作といわれる。



藤井寺の本尊は国指定重要文化財の指定をうけている木造・釈迦如来坐像



桜花咲き誇る鴨島公園

鴨島公園 春の鴨島 公園ザクラ……鴨島小唄に歌われるこの公園は、江川の清らかな水をたたえ春は並木のザクラが松のみどりに映え、夏は涼を求めてボート遊びと、町民の憩いの場となっている。

園内には、町民体育館が誕生し、また泉智等大僧正の銅像も再建された。



再建された泉智等大僧正の銅像



吉野川遊園地 国鉄・西麻植駅の東約 300 位のところ、異常水温で県の天然記念物に指定されている清澄・江川を中心に自然と人工の美が調和した絶好の行楽地。春は、うす紅を川面に映すらんまん（桜）の名所、夏は涼風にホタルを追い、秋は鴨島のシンボルといわれる菊の香かおる菊人形、冬はスイレンの花が咲き乱れ、四季それぞれに趣のある風情をかもし出している。加えて徳島興発の手によって開発され

きこどもの天国となっている。スリルに酔うジェットコースター、痛快なアストロジェット、チェーンタワーなど、ジャンボ遊具をあつめて本格的な遊園地となっている。すみ切った清流には、幾千にもほる大小あまたのコイの群れが泳ぎ、川面を紅をひいたように赤く染めている。また、園内には源氏ボタルの養殖が行なわれ、注目を浴びている。



春の桜まつりを飾った正面入口



青空臂にスリルあふれるコースター



ダイナミックな最新型のトランド



川面のコイとあそぶスワンボート



春らんまん、桜吹雪の吉野川遊園地



サクラの鴨島公園で乱舞する「きらく連」

阿波おどり 戦国の世も豊臣秀吉の天下統一で兵火はおさまり、阿波の国へは蜂須賀家政が封ぜられた。久々によみがえった平和を喜ぶ城下の民が、情熱と歓喜をぶちまけて、

おどり狂ったにはじまるという阿波おどりは、県下一円で旧盆を中心に盛大にくりひろげられる。本町でも町役場連、きらく連、若菊連などが、真夏のカーニバルに色どりをそえる。



鴨島町婦人会有志による鴨島小唄のおどり

鴨島小唄

野口 雨情 作詞
坂本 歌麿子 作曲

- 一、春の鴨島 公園桜 アリヤセ
花も若木の 花も若木の
枝に咲く アリヤセ ヨイヤリ
枝に咲く (以下ハヤシ同じ)
- 二、夏の夜すがら 江川の螢
通う心の 通う心の
團扇す 團扇す
- 三、こは鴨島 阿波での名所
見せてやりたい 見せてやりたい
菊人形 菊人形
- 四、吉野川原も まだ夜は夜中
暗いてくれるな 暗いてくれるな
川千鳥 川千鳥
- 五、吉野川筋 鴨島町を
忘れなざるな 忘れなざるな
糸の町 糸の町
- 六、吉野川から 吹く川風は
夏の鴨島 夏の鴨島
そよそよと そよそよと
- 七、波は港に 螢は草に
星は夜空の 星は夜空の
上にある 上にある